

1. 今回の研修でいただいた資料を、教職員で共有してもかまいませんか？

A. かまいません。

2. きもちメーターを使用するとなった場合は、申請や設定など関係機関等への連絡は必要でしょうか。

A. 学校長の判断で、学校が高知県 Google ヘルプデスクに申込手続きをしてください。

3. 高知県のスタディログ活用の中でデジタルドリルがありました。導入されている（予定の）市町村がありますか？

A. デジタルドリルを導入し、すでに運用を始めている市町村があります。高知家まなびばこへのデータ連携はこれからで、まだ開始しているところはありません。

4. デジタルドリルを活用することで、保護者経費の負担軽減につながった事例があれば教えていただきたい。また、今までの副教材等（特に紙仕様のもの）もあり、新たなタブレットドリル等もありと、情報が膨らんでいくばかりなので、何を何に置き換えるのかを整理して情報をいただけるとありがたい。

A. 経費については受益者負担として家庭から徴収するケースと、市町村教育委員会が支払うケースがあると認識していますが、保護者経費の負担軽減につながったというケースは現時点では確認できていません。保護者負担を軽減するためには、ご質問にあるとおり教材の置き換えを検討する必要がありますが、紙とデジタルにはそれぞれに長所・短所があり、どう置き換えるのが適切なのかについて、一概に1つの答えはなく、各学校、教室にて適切な方法をご検討いただくことが必要です。
そのため、学校現場・市町村教育委員会・県教育委員会でそれぞれ検証を進めながら、情報交換・情報共有をしていくことが重要と考えています。

5. 事務職員が Google の様々なツールを現場では利用する機会がないのが現実である。活用している事例があれば是非情報提供をお願いしたい。

A. 活用事例の中で事務職員が関連する可能性があるものとしては、以下のものが挙げられます。

- Google フォームによる出欠確認・保護者アンケート
- 教職員用 Google チャットや Google Classroom での業務連絡
- 職員会資料を Google ドライブで共有
- 一般公開する学校ホームページや学校内情報共有ホームページを Google サイトで運用

6. 事務職員にも学校でのICT活用の支援が求められているが、どのレベルのことが求められているのか。学校や地域によって違いもあるので一概には言えないと思うが、たとえば、アプリを使う上での手伝いができれば良いのか、それとも情報提供ができるくらいの知識も必要になるのか。

A. 質問にあるとおり一概には言えないところではありますが、参考として、県立学校についてはICT機器の環境整備（軽微なトラブル対応、業者への修理依頼、統合型校務支援システムの活用支援、家庭連絡アプリの活用支援など）やホームページの更新業務などができるように、研修の充実を進めているところです。なお、こうした内容について県教育委員会から県立学校に向けて発出した通知を、今年3月に「高知県立学校の管理運営に関する規則の一部改正等について(通知)」の件名で各市町村教育委員会に送付しています。

7. 教育基本計画の「学校のICT環境の整備」にある「アンケートシステムの整備による調査業務の効率化」とは、具体的にどういったことでしょうか？

A. アンケートシステムは今年度県教育委員会で開発するものです。現在、県教育委員会等から発出される調査はメール等で展開・集約していますが、特に集約の段階において回答状況の確認、結果の送付等に手間がかかる状況にあります。こうした負担を軽減するためにアンケートシステムを開発し、来年度から本格運用する予定です。